

## 水平思考

### サージ・カヒリ・キング

しばらく前に私は、悲しみや痛み、怒りや恐れに対する戦いの為に用いる兵器を尋ねる、ある男性からの手紙を受け取りました。私は出来るだけアロハ(精神)の視点から全ての事に対処しようとしているので、次の様な答えを彼に与えました。

「水平思考に視点をずらして、違う角度でこのことを捉えてみましょう。悲しみや痛み、怒りや恐れを敵として扱わず、闘うべき擬人化された存在というより、人が持っている仮説による行動として論じてみましょう。あなたは実際にはどの様な悲しみ、痛み、怒り、恐れとも出会ってはいないのです。あなたが出会うのは、苦しんでいる、または悲しみ、怒りそして恐れている人々です。ですからあなたが必要なのは、あなたがこの様な人々と関わる為の道具や彼らが変わるのを助ける道具です。」

水平思考の視点を進めて、人の反応を愛と恐怖のモードにおける受身と能動に分類してみましょう。愛のモードでの受身と能動は、平安と遊びと言えるでしょう。恐怖を基盤にしたそれらの対照は、逃避と戦いでしょう。逃避という反応は変化に対する受身的な抵抗で、痛み、悲しみ、抑圧等としてしばしば表われます。怒りは勿論、特に無力感のような望まない状況を取り除く(破壊する)為の闘争的な反応です。だから魅惑的です。行動、エネルギー、そして結果としての変化は力の幻想を与えてくれます。でも無力に対する恐れが動因なのです。

これらの水平的概念を用いる利点は、全ての事を取り扱うのに、たった一つの道具を用いるだけで良い点です。愛の反応における主なる特性は、自信であるのが分かります。「愛する程自信が深まるでしょう」と、述べる事が出来ます。同時に、恐怖はあまり効果のない二つの反応(逃避と戦い<sup>訳者</sup>)をすればする程、少なくなります。この観点では、自信が自分自身と他の人の双方にとって必要とされる道具です。そのような結果を招く(自信を増す<sup>訳者</sup>)技術を、ヒーラーであり担い手である私たちは用いたり、その道具(自信<sup>訳者</sup>)を応用する為に造り出します。

この線に沿ってさらに、あなたに役立つ二つの考え方があります。第一に、自信というのは自分が力の源に直結しているという信念から生じるのです。あなたの力の源がより確実であればある程(あるいは、あなたがより確実にそのことを信じる程)、より一貫してあなたは自信に満ちます。ですから、結びつきを深めたり、あるいは信念を強固にするための技術を考案する必要があります。

ケ・アクア・ヌイ(ハワイ語; Ke Akua Nui)と称される宇宙の霊は共に働くには良い源ですが、最も効果的な源はあなたが最大の権威と力を付与する存在なのです。

第二に、どのような技術を造りだすにしても、その為の道具は感情、言葉、イメージ、そして/あるいは、動きであるのを忘れないでください。

自信を持ってください。あなたが現在知っている、または学ぶどのような道具を用いても・・・。そうすると、悲しみ、痛み、怒り、そして恐れは戦わなくても、消えていくでしょう。

翻訳 M. Hayashi (2005)

Copyright by Aloha International 2001